

小松基地が「攻撃基地に変質」

6月3日、近畿中部防衛川県や小松基地周辺の自治協議会などに対して、F3配備することを説明し

小松基地には、現在約4備されていますが、防衛省0機をF35A機に換える年に4機を、その後順次更

しています。防衛省側は「周辺国の戦訓練環境に優れている」こ

います。F35A機配備には、主騒音。③基地機能の変化が同機が迎撃機であるF15はもとより精密誘導弾やス載し、対地・対艦攻撃もここのような戦闘機の配備に「対領空侵犯措置任務」の変化することが危惧されま

自公政権がアメリカとの国戦略に全面的に追従し、ことを約束したことからも事行動一体化のひとつし

基地のF15戦闘機が頻繁います。県平和委員会は、7月1つくる会とともに小松市にするよう申し入れました。小松市や周辺の自治体は防衛省に回答しています。で まだまだ日があります。組織して運動を強めていき

F35A戦闘機の配備は撤回を

局は小松市をはじめ、石体と小松飛行場周辺整備5A戦闘機を小松基地にた。

0機のF15戦闘機が配の計画では、このうち2というもので、2025新し20機体制にすると

力の近代化や小松基地のとを配備の理由に挙げて

として①機体の欠陥。②あり、特に③については機とは異なり、迎撃任務タンドオフミサイルを搭なす多任務戦闘機であり、よって小松基地の機能が基地から「攻撃基地」にす。

協議で日本が米国の対中軍事面で共同行動をとる重要です。すでに日米軍で、米戦略爆撃機と小松に「共同訓練」を行って

日、清潔で明るい小松を対し、同機の配備に反対

その後配備を容認するとしかし2025年配備ま今後とも配備反対の声をましよう。

- 5月22日 県平和委員会結成60周年記念講演会「岸松江弁護士＝平和とジェンダー」をオンラインで視聴。その後、第55回総会（歌劇座）
- 24日～28日 小松基地騒音測定に、のべ23人が参加
- 29日 非核の政府を求める石川の会が「総会」
- 6月6日 日本平和委員会全国大会にオンラインで3人が参加
- 9日 県原水協がエムザ前で「6・9署名」行動
- 13日 「国民平和大行進」倶利伽羅で引継ぎ式
- 15日 エムザ前で「沖縄連帯宣伝署名行動」
- 21日 「怒りの昼デモ」四高記念公園横～武蔵
- 24日 平和行進、福井へバトンタッチ
- 26日 戦争をさせない石川の会オンライン学習会。「羽咋9条の会の学習会」柴原事務局長が話題提供
- 7月1日 F35A戦闘機配備計画の撤回を、小松市へ申し入れ
- 7日 「怒りの昼デモ」
- 9日 県原水協「6・9署名」行動
- 15日 小松基地爆音訴訟団が裁判官を交えて現場検証。「沖縄連帯宣伝署名行動」
- 17日 県革新懇「総会」
- 19日 市民アクション・いしかわが恒例の「街頭宣伝」
- 21日 「怒りの昼デモ」
- 25日 プロテスタント金沢教会平和部会の学習会で山野代表理事が講演
- 8月1日 市民連合が政策提案シンポを開催
- 2日 原水禁世界大会「国際会議」オンラインで視聴（みのり、5人）。6日 同「ヒロシマ集会」（4人）。9日 同「ナガサキ集会」（6人）など、県内で17カ所、のべ100余人が参加。6日の朝、金沢駅前「平和の波」行動＝原水協ニュースより
- 8月2日～16日 反核・平和おりづる市民のつどい実行委員会が、県庁19階ロビーで「平和パネル展」を開催。その他、県内の各自治体や市民団体が「原爆と人間展」を開催
- 6日 県原水協「6・9署名」行動
- 8日 山野氏が野田山で「平和ガイド」
- 12日 能美市でF35A戦闘機配備問題で学習会（柴原氏が問題提起）
- 20日 「伊藤千代子映画制作・上映を支援する会」結成集会
- 9月1日 「怒りの昼デモ」出発式で村中香子常任理事が決意表明

「F35A戦闘機」小松基地配備?!

近畿中部防衛局は、2025年までに小松基地にF35A戦闘機を4機配備し将来的に約20機体制にする。小松市、加賀市、能美市、川北町などに伝えた。

F35戦闘機は危険か? 800名を超える市民が「F35配備は危険か?」をテーマにした市民会議を開催。F35配備について、10月2日開催の第1回市民会議で明らかになり、うち10人はF35配備の危険性や安全性に関する「カテゴリー1」に分類されるとしています。県大事故など危険に感じるのは、パイロットや住民です。

2019年4月に青森県沖で墜落事故 原因はパイロットの平衡感覚喪失? 2019年4月9日、航空自衛隊のF35A戦闘機が青森県沖の大平洋に墜落しました。航空自衛隊は「パイロットが平衡感覚を失い、機体の上下の姿勢や力強など各機が『空宙体失調』の可能性が高い」としていますが、その一方で、エンジン制御、操縦、電気系統等の不具合について「完全に排除できぬ」とも述べています。

エンジンが戦闘機用としては最大級 騒音被害も心配 騒音被害は、その威力は双発機種のF/A18スーパーホーネットに匹敵。

危険なF35A戦闘機の小松基地への配備をやめさせましょう!

石川県平和委員会 石川県金沢市上屋敷1-3-2 石川学習会館内 電話 076-240-7192 fax 076-249-1409 <http://shikawa-peace.com/>



F35A戦闘機（航空自衛隊ホムベージュ）

小松基地が「攻撃基地」に
F15戦闘機と異なり、F35戦闘機は、地上や艦艇を爆撃やミサイルで攻撃できる多用途戦闘機（攻撃機）です。当然、そのような任務が与えられ、小松基地の配備は、「対領空侵犯措置任務」の基地から「攻撃基地」に変質することになります。万一の際には、小松基地は真っ先に攻撃される対象になりかねません。

7月、小松市・加賀市・能美市・白山市の「しんぶん『赤旗』」に折り込んだチラシ